

Q 世界のギノザンチュって何だ!?

1904年以降、ハワイや南米などで豊かな生活を求めて海外へ渡った宜野座村出身者たちのこと。多くの方がビジネスを成功させ、海外で暮らす宜野座村人は2016年現在で約1,600人にも上る。1986年より母村で3カ月間子弟研修生の受け入れを開始、2006年には村青年を海外へ派遣し、相互交流を行うことで村との友好親善や村民の国際交流思想の高揚に繋がっています。



Q 村出身の名司会者：モズクマン(翁長優)、古謝わかなさん、東瀨剛さんって誰だ!?



村内イベントや、結婚式の司会に欠かせない地元の有名人、翁長優さん扮する「モズクマン」やミセス・ツーリズムジャパン2018で準グランプリに輝いた「古謝わかな」さん、歌手の長瀨剛のコピーミュージシャンとしても活動している傍ら司会業も務める東瀨剛さん。

Q

「宜野座村ふるさと大使『ストロベリー』って何者!?



ディエゴ 生いっちゃん

マラドーナのものまねをする宜野座村出身のディエゴと生いっちゃんさんのお笑いコンビ。村まつりや観光イベントなどで司会を務め、村をPR。コンビ名が、偶然にも村特産品のストロベリーとベビーリーフを掛け合わせた『ストロベリー』。

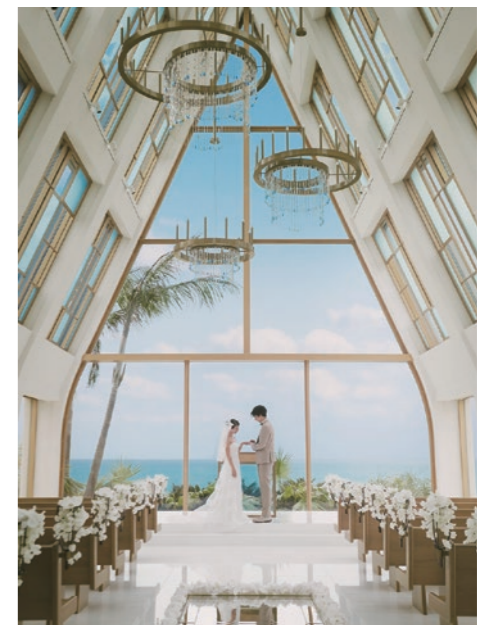
Q ミセス・ツーリズムジャパン2018 準グランプリの女性が宜野座村に!?

23歳以上の既婚女性などが対象で、外面だけでなく知性や感性、人間性など内面の美しさも審査の基準となる「ミセス・ツーリズム・ジャパン」。2018年の大会にて村出身の「古謝わかな」さんが、準グランプリに選ばれました。



Q

東海岸のチャペルでリゾート婚なんていかが!?



モダンガラスからの光が満ち溢れる壮大なチャペル「美らの教会」では、毎年多くのカップルが挙式を行います。県内外はもちろん、海外からも多くの方がリゾートウエディングを挙げ、たくさんの幸せが誕生しています。

ぎ~のくんが答える

思わず教えたくなる!?

ぎのざトリビア



気になる宜野座村の噂をぎ~のくに答えてもらいました。これを知れば、宜野座村がもっと深くみえてくるはず!

Q 宜野座村が沖縄県茶の発祥ってホント!?

沖縄のお茶は、1623年に金武王子朝貞が茶の種子を薩摩から持ち帰り、漢那村に栽植したことで始まったと言われます。湖の近くには石碑が建っている。



Q

気になるキャラクター! 宜野座のぎ~のくん!?



村のキャラクター「ぎ~のくん」。村のシンボル「ガラマン岳」を頭で表現し、特産品の「じゃがいも」と「パイナップル」を身に付けています。「宜野座村ふるさと大使」としてイベントなどで村のPRを行っています。

Q 宜野座村のマンホールがユニークだって!?

村内の各区には、オリジナルのマンホールが存在します。それぞれの伝統芸能にちなんだものや、名所などデザインは様々。村を散策する際には、一つ一つ探してみるのもおもしろいかもれません。



Q 村の特産、ベビーリーフって何!?

発芽後30日ほどで収穫した野菜やハーブなどの若い葉っぱをベビーリーフと言い、宜野座村の名物です。農業・化学肥料を使わない優しい野菜は、栄養価も高く、サラダや料理のトッピングに重宝されています。



Q マンホールだけじゃない! 街灯だってあら! 素敵!

マンホールに加えて、今度は空を見上げてみれば、個性豊かな街灯も見つけられます。松田区の獅子舞や宜野座区のチョンダラー、じゃがいもの産地でもある惣慶区には、じゃがいもを象ったデザインの街灯があります。

